

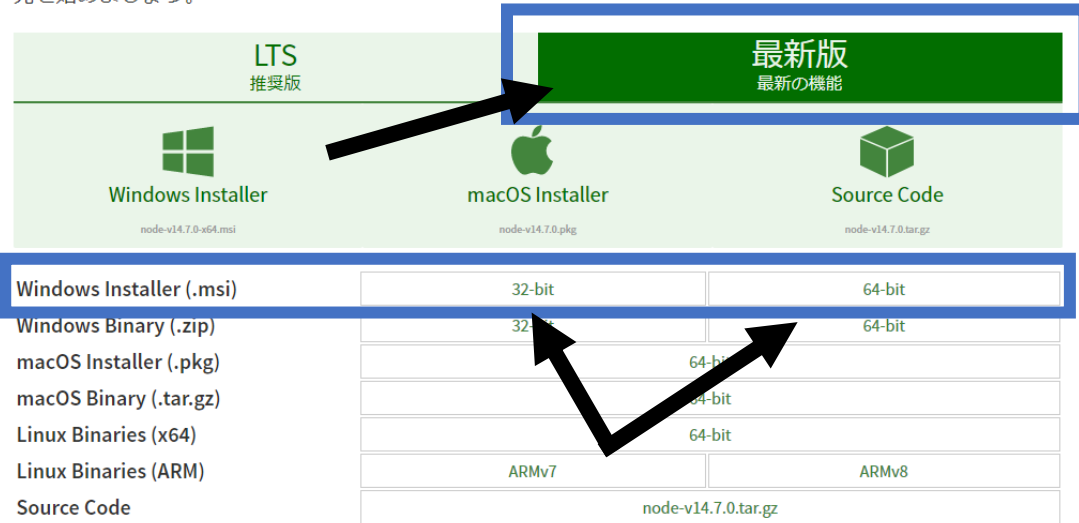
ハイローエントリー

設定マニュアル

ダウンロード

最新のバージョン: 14.7.0 (同梱 npm 6.14.7)

Node.jsのソースコードをダウンロードするか、事前にビルドされたインストーラーを利用して、今日から開発を始めましょう。



Welcome to the Node.js Setup Wizard



The Setup Wizard will install Node.js on your computer.

Back

Next

Cancel

■PCへのセットアップ手順

本ツールは「node.js」を使用しますので、はじめに以下の手順で導入してください。

商品ファイルはデスクトップなど分かりやすい場所に保存しておきます。

1. Node.jsインストール

Node.jsの公式サイトから、お使いのPC環境にあわせたNode.jsをインストールしてください。

<https://nodejs.org/ja/download/>

リンクを飛んでいただくと、左の画像のページが表示されますので、

「最新版」のWindows Installerの対応bitのものをインストールしましょう。

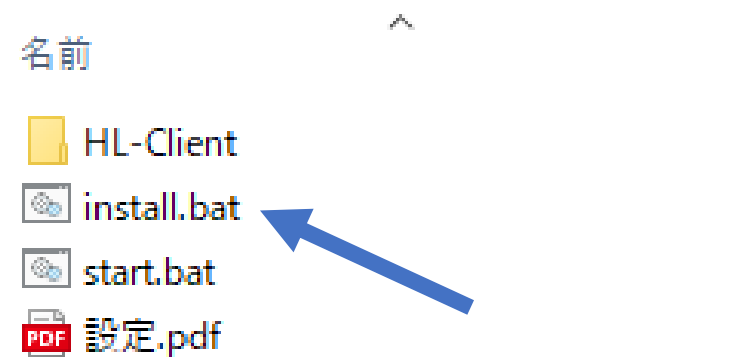
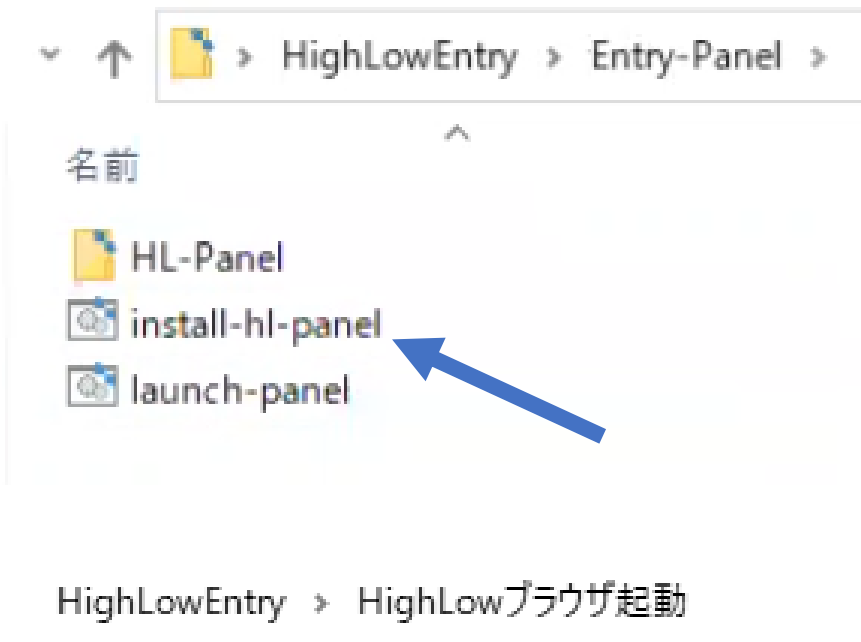
インストーラーを起動すると左下の画像のようになりますので、

「Next」⇒「Next」⇒「Next」⇒「Next」⇒「Next」⇒「Install」

の順でそのまま進んで頂ければインストールが開始されます。

途中「I accept the terms in the License Agreement」にチェックを入れる項目がありますが、そちらはよろしければチェックボックスにチェックを入れていただければ次に進めます。

インストール完了後はインストーラーは閉じていただいてOKです。



2. プログラム実行ライブラリインストール

「Entry-Panel」フォルダ内に入っている『install-hl-panel』をダブルクリックで起動し

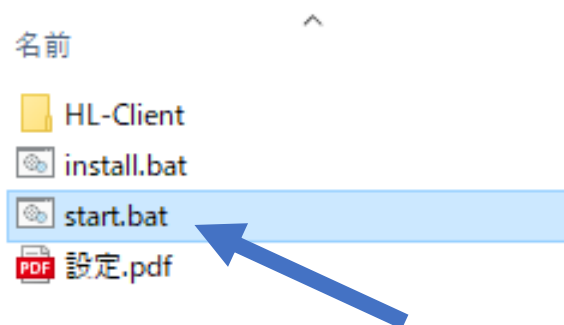
インストールを開始します。

※黒い画面が表示され、インストール完了までしばらく時間がかかる場合があります。

その後、「HighLowブラウザ起動」フォルダ内に入っている『install』をダブルクリックして起動しインストールを開始します。

同様に黒い画面が表示されますが、自動で閉じるまで待ちます。

HighLowEntry > HighLowブラウザ起動



*start.bat - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

```
@echo off
chcp 932
%~d0
cd /d %~dp0¥HL-Client
node hl-client.js HL12345 abcde 1
cmd /k
```



3. Startファイルの編集

次に「HighLowブラウザ起動」フォルダ内に入っている『start』ファイルを右クリックし、「編集」と進みます。

すると左画像のようなメモ帳画面が表示されますので、その中の『**** *』と表示されている箇所をご自身のハイロー口座ID、パスワードへと置き換えます。

左側がハイロー口座ID、右側がパスワードとなります。

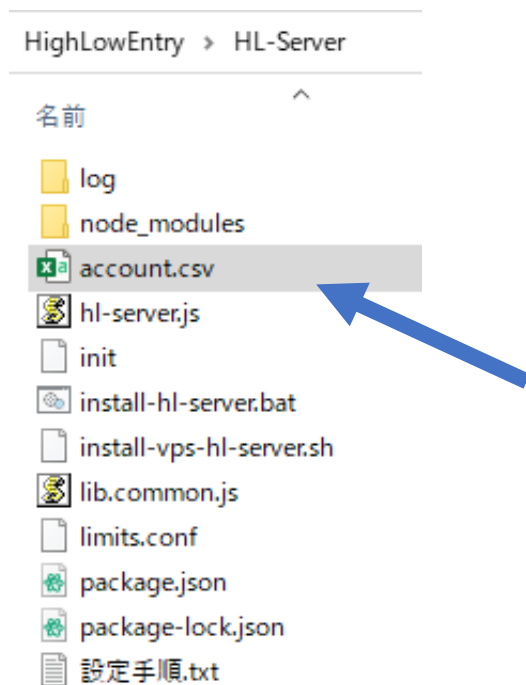
※例:ハイロー口座IDが『HL12345』、パスワードが『abcde』の場合は

“node hl-client.js HL12345 abcde 1”

のように編集します。

※IDとパスワードの間、そしてパスワードと末尾『1』の間には半角スペースが入っているので消さないように注意してください。またIDの先頭がHLMIの場合やメールアドレスがIDの方は『HL』の部分から入れ替えを行います。

編集が終わったら、左上「ファイル」から『上書き保存』を選択します。



4. accountファイルの編集

次に「HL-Server」フォルダ内に入っている『account』ファイルをダブルクリックし、編集画面を開きます。(Officeソフトが入っていない場合には設定方法動画にある説明にて対応可能)

そしてエクセルのA2箇所にあるマスの中にご自身のハイロー口座IDを入力し、上書き保存を行います。

※それ以外の項目はそのままの状態の問題ありません。

A2			
	A	B	C
1	highlowId	amount	token
2	HL12345	*	1
3			



5. 設定手順テキストからcmd設定

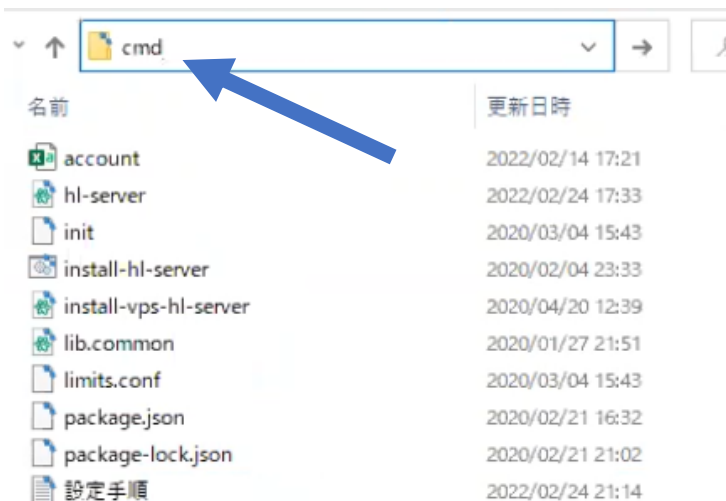
次にHL-Serverフォルダ内にある『設定手順.txt』を開きます。

すると左画像の内容が表示されますので、記載された手順通りに進んでいきます。

cmdプロンプトへ移動する際、『パスアドレス』というところに「cmd」と入力する必要がありますが、左下の画像の矢印箇所が『パスアドレス』です。

そしてcmdプロンプト画面という、黒い画面が表示されてから『npm install』と入力しEnterを押します。

すると黒い画面(cmdプロンプト画面)が立ち上がりますが、自動で閉じるまで待ちます。



6. ツール起動設定

次に同じ手順で『パスアドレス』へ「cmd」と入力し再びcmdプロンプト画面を表示します。

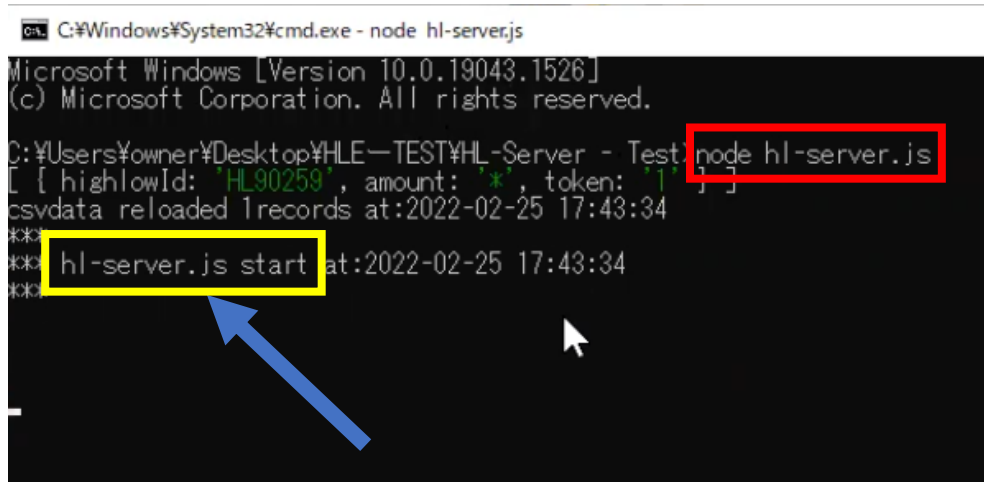
そこに『 node hl-server.js 』と入力しEnterを押します。

そして画像のように『hl-serber.ks start』という文字が表示されればOKです。

この状態になりましたらcmdプロンプト画面は最小化をしておきます。

※画面自体を×で終了してしまうと動作しなくなってしまうため注意。

また、一通り設定が終わったあとは次回からこの手順から開始してOKです。



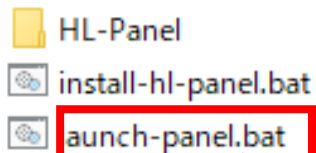
```
C:\Windows\System32\cmd.exe - node hl-server.js
Microsoft Windows [Version 10.0.19043.1526]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\owner\Desktop\HLE-TEST\HL-Server - Test>node hl-server.js
[ { highlowId: 'HL90259', amount: '*', token: '1' } ]
csvdata reloaded 1records at:2022-02-25 17:43:34
**
** hl-server.js start at:2022-02-25 17:43:34
**
```

The screenshot shows a Windows Command Prompt window. The title bar reads "C:\Windows\System32\cmd.exe - node hl-server.js". The command prompt shows the execution of "node hl-server.js", which outputs a JSON object and a timestamp. The output "hl-server.js start at:2022-02-25 17:43:34" is highlighted with a yellow box, and a blue arrow points to it. The command "node hl-server.js" is highlighted with a red box.

HighLowEntry > Entry-Panel

名前



7. エントリーパネル起動

次に「Entry-Panel」フォルダ内にある

『launch-panel.bat』をダブルクリックで起動します。

すると左下の画像のようにエントリーパネルが表示されます。

※事前に5番目の手順を踏まなければ起動できません。

その際に表示される黒い画面(cmdプロンプト)は消さずに最小化などをしていただければと思います。

エントリーパネル内の主な項目は…

- ・『HighLow』『Turbo』エントリー指定
- ・『通貨ペア名』
- ・『エントリー判定時間』
- ・『エントリー金額』

の項目に分かれており、一番下の『HIGH』と『LOW』ボタンでエントリー可能です。このそれぞれのボタンは押した段階でハイローページのほうで通貨ペアや判定時間などの切り替えが自動で行われます。

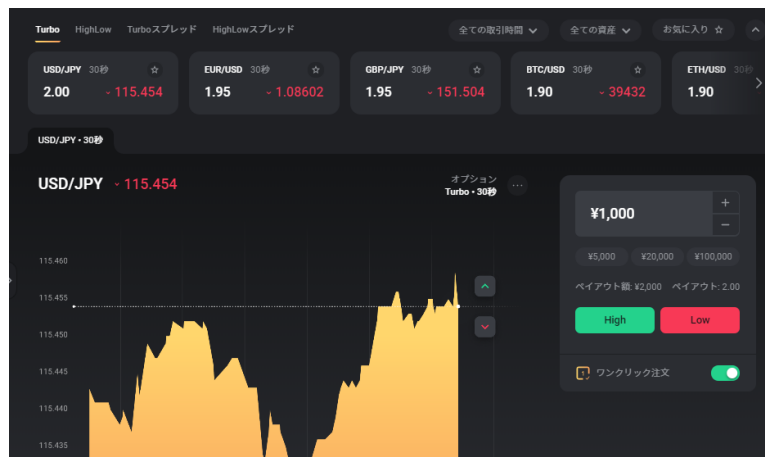
名前

HL-Client

install.bat

start.bat

設定.pdf



8. ハイローブラウザ起動

次に「HighLowブラウザ起動」フォルダ内にある

『start.bat』をダブルクリックで起動します。

するとクロームブラウザ(クロミウム)にてハイローページに自動でログインします。

※ここでも表示される黒い画面(cmdプロンプト)は消さずに最小化などをおきます。

もし左下のような『インターネットが接続されていないようです』というようなエラー画面になってしまった場合には、黒い画面を消していただくとブラウザも同時に閉じますので、一度どちらも閉じていただき再度『start.bat』にて正常にログインできるまでブラウザを再起動します。

HighLowEntry > HighLowブラウザ起動 > HL-Client

名前	更新日時	種類
cookie	2022/03/03 13:59	ファイル フォルダー
log	2022/03/09 13:34	ファイル フォルダー
node_modules	2022/03/03 13:52	ファイル フォルダー
デモ用ファイル	2022/03/09 13:36	ファイル フォルダー
リアル用ファイル	2022/03/09 13:36	ファイル フォルダー
hl-client.js	2022/03/09 13:36	JavaScript ファイル
jquery.min.js	2022/02/10 9:32	JavaScript ファイル
lib.common.js	2022/02/10 9:32	JavaScript ファイル
lib.highlow.js	2022/02/24 18:28	JavaScript ファイル
mode.js	2022/02/10 9:32	JavaScript ファイル
package.json	2022/02/10 9:32	JSON ファイル
package-lock.json	2022/03/03 13:52	JSON ファイル
server_url.txt	2022/02/24 17:54	テキストドキュメント

HighLowEntry > HighLowブラウザ起動 > HL-Client > デモ用ファイル

名前	更新日時
hl-client.js	2022/03/09 13:35

コピー

HighLowEntry > HighLowブラウザ起動 > HL-C

名前
cookie
log
node_modules
デモ用ファイル
リアル用ファイル
hl-client.js
jquery.min.js
lib.common.js

貼り付け

9. デモ/リアル口座切り替え方法

デモ口座、リアル口座の切り替えは『hl-client.js』というファイルにて行います。「HighLowブラウザ起動」フォルダ内の「HL-Client」ファイルの中に進むと左上の画像のようなファイル一覧が表示されます。

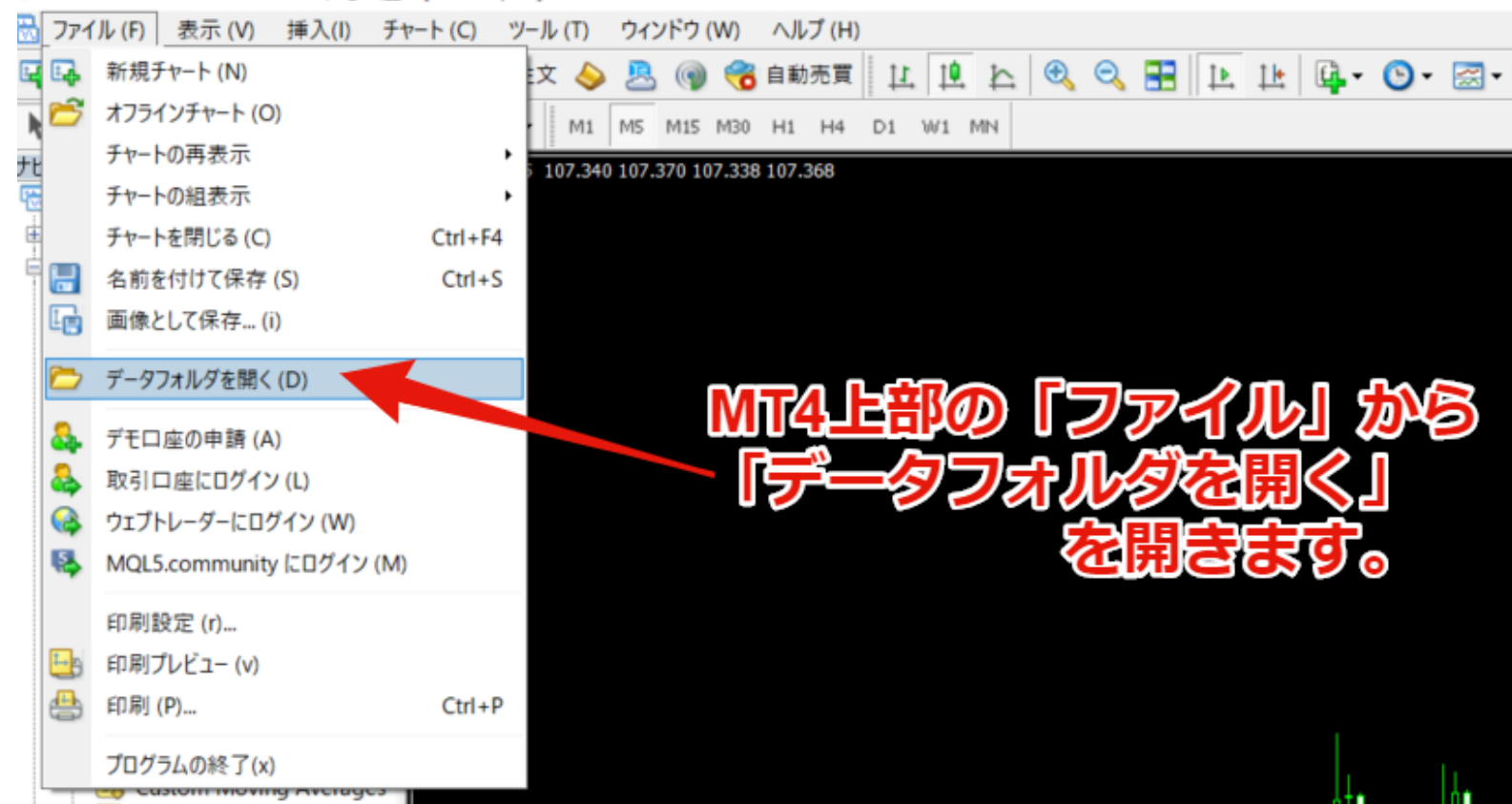
「デモ用ファイル」と「リアル用ファイル」の中にはそれぞれ『hl-client.js』というファイルが入っており、そのファイルを左上画像の「HL-Client」フォルダ内の『hl-client.js』と置き換えることでそれぞれの切り替えが可能です。

「デモ用ファイル」と「リアル用ファイル」の中の『hl-client.js』は何度も入れ替えに使用しますので、コピーをして既存の「HL-Client」フォルダ内の『hl-client.js』と交換するように使用します。

入れ替え後に「HighLowブラウザ起動」フォルダ内にある

『start.bat』を起動することでデモ/リアル口座の切り替えが完了です。

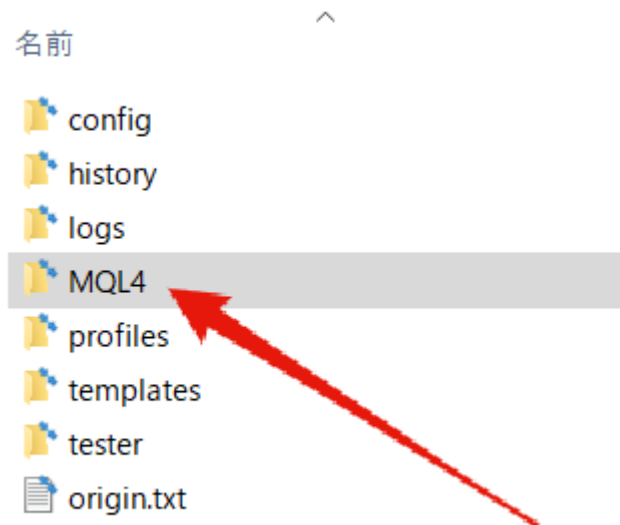
6776761: Tradeview-Demo - デモ口座 - [USDJPY,M5]



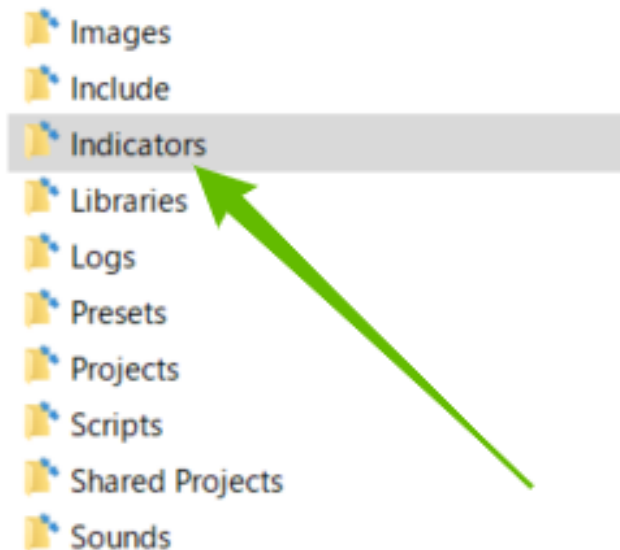
10.MT4用インジケーター導入方法

まずはじめに、

MT4を起動してMT4上部の
「ファイル」⇒「データフォルダを開く」
をクリック。

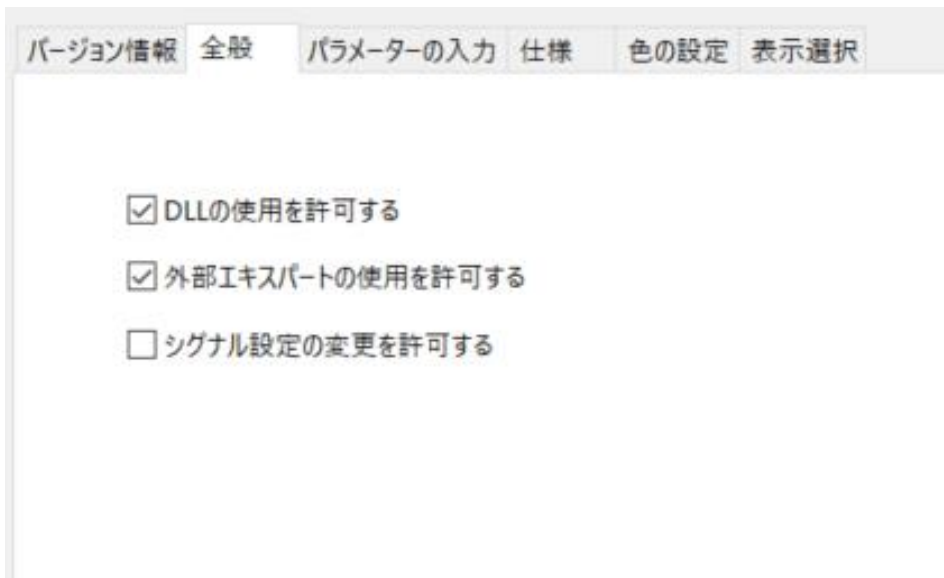


▶次にデータフォルダ内の
「MQL4」へ進みます。



▶ MQL4の中の「Indicators」フォルダの中
に商品フォルダに入っている
「HighLowBtn.ex4」を入れておきます。

その後一度MT4は終了して、
もう一度MT4を立ち上げましょう。

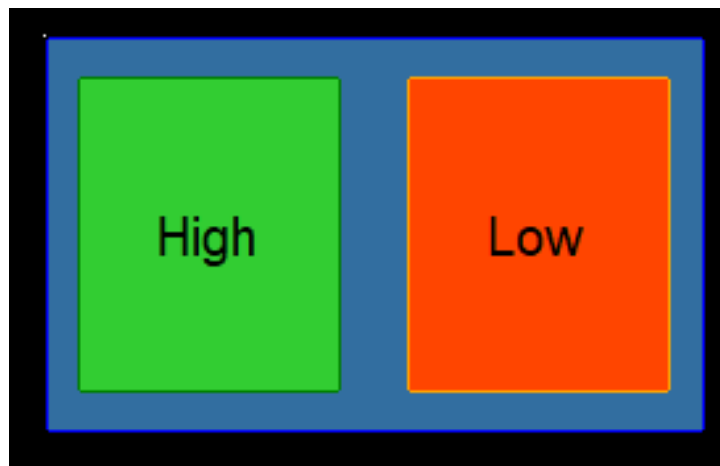


▶次にチャートへ
「HighLowBtn.ex4」
を適用します。

▶「HighLowBtn.ex4」起動時、
「全般」タブにある「DLLの使用を許可する」に
チェックを入れて「OK」を押して適用させます。

※DLLの使用を許可して確定しないまま設定を
行ってしまうと、エントリーが行われません。

無事起動が完了すると左下のようなエントリーボタンが表示され
ます。



『High』ボタンはハイエントリー
『Low』ボタンはローエントリー
その周りの青枠をクリックすると、エントリー待機状態(適用して
いる通貨ペアのエントリー画面)になります。

また枠の左上をドラッグすることでパネルは移動が可能です。

※6番で説明しているエントリーパネルでも、このMT4上のパネ
ルでもどちらからもエントリーが可能です。

【その他サポート・お問い合わせについて】

・ 公式LINE

<https://line.me/R/ti/p/%40946naeyw>

